



小型衛星「まいど 1 号」(SOHLA-1)の打上げについて

平成 21 年 1 月 16 日

独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
東大阪宇宙開発協同組合

NEDO 技術開発機構の委託事業として、東大阪宇宙開発協同組合(SOHLA)が研究開発を実施した小型衛星 SOHLA-1(「まいど 1 号」※)は、1 月 21 日にH-IIAロケット 15 号機で打上げられる予定です。軌道投入後、世界初の衛星からの雷観測などを行うことを目的としています。

※:軌道投入成功後に「まいど 1 号」と命名予定です。「まいど」は、大阪の商習慣の言葉で、挨拶／仕事を頂いたときなどの御礼の意味があり、宇宙で「まいど！」と元気よく活躍して欲しいとの関係者の熱い思いが込められています。

1. 概要

【経緯】

本衛星の研究開発は、NEDO 技術開発機構の基盤技術研究促進事業の1テーマ「高度製造技術と革新的設計の融合による汎用小型衛星の研究開発」として、東大阪宇宙開発協同組合を委託先として平成 15 年度から平成 19 年度まで実施されました。

今回打ち上げられる SOHLA-1(基礎実証モデル)は、平成 19 年 5 月に宇宙航空研究開発機構(JAXA)のH-IIAロケットに相乗りする小型副衛星として選定され、平成 20 年 3 月の衛星完成後、JAXA 筑波宇宙センターでの各種検査等を終え、平成 20 年 12 月に JAXA 種子島宇宙センターに搬入されました。

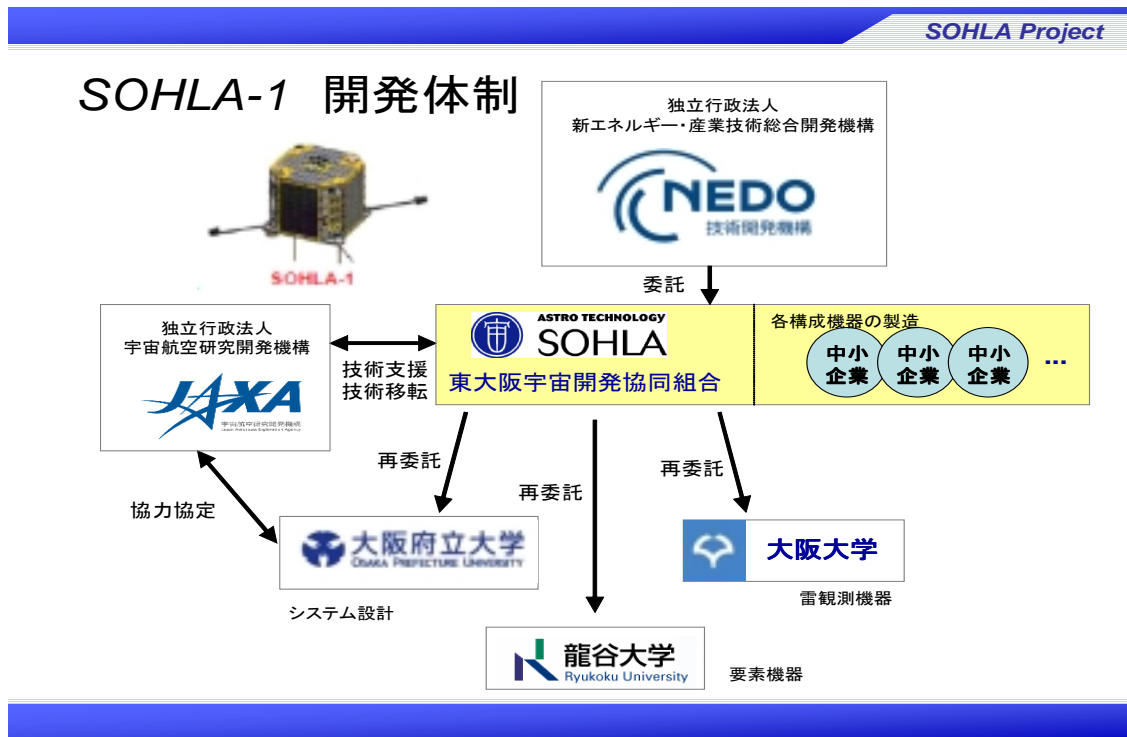
【目的】

SOHLA-1(基礎実証モデル)は、汎用小型衛星に搭載する機器の宇宙空間での先行実証を主な目的とし、また小型衛星開発/運用の基礎技術習得を行うために JAXA の技術支援を得て開発された小型衛星です。

主ミッションは、VHF 波形モニタ装置(BMW)を用いた世界初の衛星からの電波観測による雷放電位置標定の先行実証を行ないます。

【開発体制】

本衛星の開発体制は以下の通りです。



2. 打上げについて

【ロケット】 H-ⅡA(GOSAT 打上げに相乗り)

【打上げ予定日】 平成21年1月21日(水)

【打上げ予定時間帯】 12時54分～13時16分(日本標準時)

【打上げ予備期間】 平成21年1月22日(木)～1月25日(日)

平成21年1月27日(火)～2月28日(土)

【打上げ場所】 JAXA種子島宇宙センター 大型ロケット発射場

3. SOHLA-1 の概要

【寸法】 W:500mm × D:500mm × H:500mm

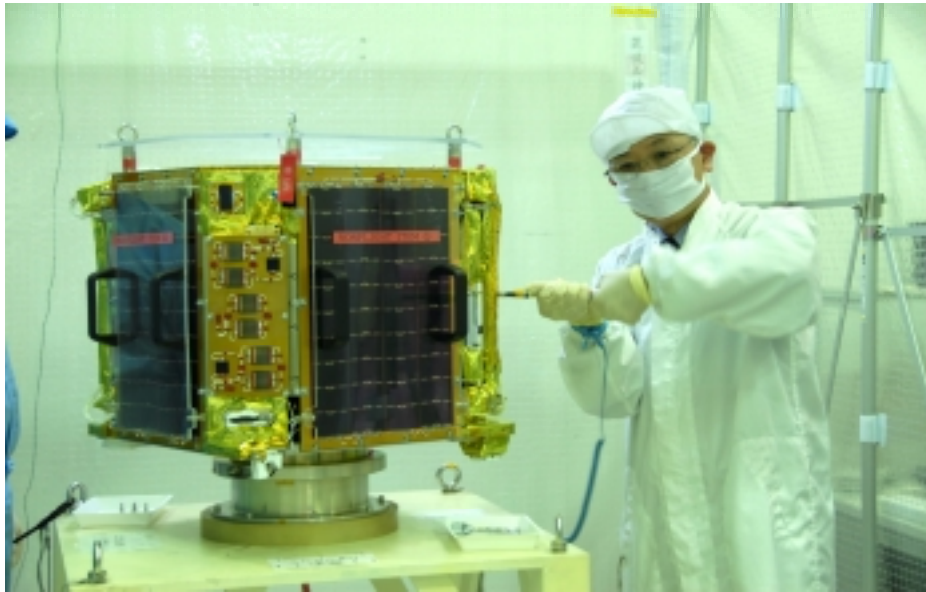
【質量】 約50kg

【軌道】 太陽同期軌道 高度約666Km 軌道傾斜角98deg

【通信】 Sバンド アマチュアバンド 併用

【運用期間】3ヶ月以上

4. SOHLA-1 外観及び搭載記念プレート



SOHLA-1 外観



搭載された記念プレート

以上

担当/問い合わせ先

【本プロジェクト全般】

(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 機械システム技術開発部

北村、齋藤 TEL:044-520-5240

【本プロジェクト詳細】

東大阪宇宙開発協同組合

棚橋、野田 TEL:06-6747-8081

【基盤技術研究促進事業全般】

(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 研究開発推進部

吉木、井原 TEL:044-520-5172